

# 推進委員のしおり



平成28年3月(2016)

ひたち生き生き百年塾推進本部

## はじめに

推進委員が「ひたち生き生き百年塾運動」とは何か、その中で「ひたち生き生き百年塾推進本部」はどのような位置付けや役割を担っているのかを理解できるようにこのしおりを作成した。

各部会で取り組んでいる主な事業の内容や推進委員としての的確に活動するために必要と思われるいろいろな情報、手続き等についても、できる限り詳細に記載し、より身近なハンドブックとして活用されるよう配慮した。

企画会議では、今後の活動の指針になる事項が審議・決定されるが、議事録内で止まっているため飛散し、徹底に欠けることがあるので「企画会議決議事項」として新たに項目を設けた。

また、手続きに係る申請書様式や参考資料などを含めると、本書が分厚くなり取扱上支障が出るため、今回本編と資料編に分けて構成することにした。

運用に当たり内容に変更が発生するたびに改訂版を発行することは無理があるので、百年塾のホームページの「推進委員の部屋」に最新版の「しおり」を掲載することにした。

このしおりを通じて、百年塾の目指しているものや、他の部会の事業内容を理解し、これからの百年塾事業の運営がますます充実発展し、活性化するよう活用していただきたい。

## 目 次

### 1. 百年塾と生涯学習推進について

1.1	窓口は百年塾サロン	1
1.2	百年塾とは	1
1.3	百年塾の理念	3
1.4	百年塾のめざすまちづくり	4
1.5	生涯学習とは	5
1.6	生涯学習推進と推進委員の役割	6
1.7	百年塾推進本部の構成	7
1.8	百年塾各種会議の構成と任務について	7
1.9	百年塾専門部会の内容	7
1.10	市民教授について	10
1.11	日立のまち案内人について	11

1.12 百年塾と他の団体との連携	11
-------------------	----

## 2. 百年塾の事業の基本方針と主な具体例

2.1 事業の基本方針	13
2.2 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供	13
ひろばの発行	13
ひたち生き生き百年塾ホームページ	14
広報セミナーの開催	14
他の団体のホームページ作成支援	15
2.3 関係団体とのネットワークの強化	15
コミュニティ推進会との連携	15
グループ情報システム	16
百年塾フェスタ	16
2.4 学校教育の支援と健全な子どもの育成支援	17
推進園・校 支援事業	17
地域における子ども行事の支援	17
ゲストティーチャー活用事業	17
子どもの国際理解を図る事業	18
2.5 まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進	19
ひたち市民カレッジ	19
市民教授の支援事業	19
人材名簿の発行	20
2.6 住みよいまちづくり活動と産業の活性化	21
地産地消の支援	21
市民ワークショップ	21
働く人、若い世代への生涯学習の支援	22
日立のまち案内人	22
2.7 市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供	23
市民教授の会	23
講演会・講座の開催	23
2.8 その他	24
推進委員研修会	24
百年塾推進委員通信「WAVE」の発行	24

## 3. 企画会議決議事項

3.1 次年度の事業計画	25
3.2 「事業計画書」「事業報告書」	25
3.3 新規事業に当たっての注意事項	25
3.4 協賛金活用事業	25
3.5 預託金活用事業	25
3.6 プロジェクト制の導入	26
3.7 各種手続きの申請書	26
3.8 市民教授登録の手続き	26
3.9 広報関係	26
3.10 共済・後援	26

## 1. 百年塾と生涯学習推進について

新しく推進委員になった年男さんは百年塾推進本部について分からないことがあるので、百年塾サロンの百子さんにいろいろ聞くことにしました。

### 1.1 窓口は百年塾サロン



年男：

今日は百年塾全般について伺いたくてきました。

百子：いらっしゃい。ここが「百年塾サロン」です。

百年塾サロンでは日立市教育委員会生涯学習課の社会教育指導員が市民のみなさんの生涯学習の相談窓口と、推進委員の活動に当たって推進本部の事務局として以下の業務をしています。推進委員の連絡窓口となって事務局業務をしておりますが、推進委員がする業務の補足的な仕事を主務としているわけではありません。

また、百年塾サロンは市民や推進委員の交流スペースとしての役割もあります。



#### 窓口業務

- ① 市民教授の紹介
- ② 各種公共施設・民間施設の紹介
- ③ 教育プラザ内の会議室・ギャラリーの利用申込み受付
- ④ 講座・講演・公募等の受付
- ⑤ 生涯学習に関する相談
- ⑥ 推進委員・市民教授の登録受付

#### 事務局業務

- ① 予算関係処理
- ② 物品購入・管理
- ③ 企画会議資料収集及び作成
- ④ 講師との調整
- ⑤ 外部との交渉
- ⑥ 市民・団体に係わること全般
- ⑦ 推進委員連絡窓口

### 1.2 百年塾とは



年男：

なぜ「百年塾」というような名前になったのですか？

百子：昭和 61 年(1986) 公募による「市民会議（生涯学習推進計画策定委員会）」が発足して、日立市で生涯学習をどう進めたらよいかの検討が行われました。その結果、昭和 63 年(1988)、生涯学習運動「ひたち生き生き百年塾プラン」（以下 百年塾プラン）の提言書を市長に提出、庁内会議において、市民と行政が一体となった日立市民の生涯学習運動を「百年塾運動」と名付け、正式に位置づけられました。

(注) 本しおり資料編の資料-11「ひたち生き生き百年塾プラン」参照。

その「百年」の意味ですが、この市民会議の答申書である「百年塾プラン」によりますと、百年塾運動は、「生き生きとした人生百年を生き、百年先を見通したまちづくりを進めるために、今を大切に、共に学んでいく場」という意味をこめてスタートした生涯学習運動と書かれています。

この答申を受けて百年塾運動推進のため、昭和63年8月(1988)に日立市長を本部長に、市民と行政が一体となった「ひたち生き生き百年塾推進本部」が発足しました。

以上の経緯により日立市では、市民の生涯学習活動を「ひたち生き生き百年塾運動」と呼んでいます。個人はもとよりコミュニティ、学校、各種団体、企業、行政などみんなが力を出しあって、子どもからお年寄りまで、“いつでも・どこでも・なんでも”学びあい、教えあうのが生涯学習です。

日立市ではこの生涯学習「百年塾運動」をとおして「人づくり」や「まちづくり」を推進します。これをサポート・運営するのが「ひたち生き生き百年塾推進本部」の目的です。生涯学習という言葉がでてきましたが1.5項の「生涯学習とは」で述べます。

(注記) 以下で混乱しないように名称の略称を整理します。

- ・日立市民の生涯学習運動（ひたち生き生き百年塾運動）：「百年塾運動」
- ・ひたち生き生き百年塾推進本部：「百年塾」または「ひたち生き生き百年塾」

### 「人づくり」と「まちづくり」について

「人づくり」と「まちづくり」という言葉が出ましたが、一般の生涯学習の中には出てこない日立市だけのものです。

高齢化社会の進行の中で、余暇時間は着実に増加しており、生き生きと人生を生きていくためにも、生涯学習は、単なる趣味活動から広範な分野で、しかも社会性をもった学習活動への転換が必要であります。

人間、誰でもよいまちに住みたいと願うものであり、そのためにもよいまちづくりが必要になってきます。よいまちづくりを進めるためには、人（市民）が大切であり、人（市民）づくりは生涯にわたる学習（活動）によって培われるものです。

すなわち、生涯学習による個人の資質の高まりが、市民の連帯を強め、やがてそれは、まちづくりへと進むことが期待されることから、百年塾運動は生涯学習のなかに「人づくり」と「まちづくり」をいれているのです。

### 1.3 百年塾の理念



百年塾が目指しているものは何か、  
教えてください。

百子：百年塾の目的や事業については「ひたち生き生き百年塾推進本部設置要綱」に定めています。（総会資料参照）

百年塾の活動そのものが生涯学習であり、市民のボランティアで支えられていることから、目的が不明瞭になりがちで、「仲間づくりだけでよい」、「楽しくやる方が大切だ」という誤解も一部にありました。そこで理念の再確認が行われ、平成20年4月(2008)の百年塾本部総会で、「百年塾の理念」「生涯学習とは」「生涯学習推進とは」「百年塾の事業方針」などが再確認されました。（添付資料－7参照）

まず、理念ですが、百年塾は生涯学習を通して、人づくり・まちづくりを目指すことが明確になり、単なる自分の生涯学習という位置付けだけでなく、市民の生涯学習(=百年塾運動)の環境をつくり、推進することを目的とすることが再確認されました。

<b>百年塾の 理念</b>	百年塾の目的は、人づくり・まちづくりである。 百年塾は、生涯学習をとおして、人づくりを進め、まちづくりを推進する。 百年塾は、市民が生きがいのある生活を過ごせるよう、行政と協働して、市民の生涯学習を活性化するための支援を行い、また自らも楽しみながら学び、生涯学習をとおして、みんなで住みよいまちづくり活動を行う。
--------------------	--

この中の3段目の文章に、百年塾運動は市民と行政が協働して行う運動であること、市民自身が生涯学習をとおして、住みよいまちづくりを目指すことが明記されております。イメージ図としては図1のように、市政や市民がみんなで力を合わせて行うまちづくりの一端を担う立場にあります。

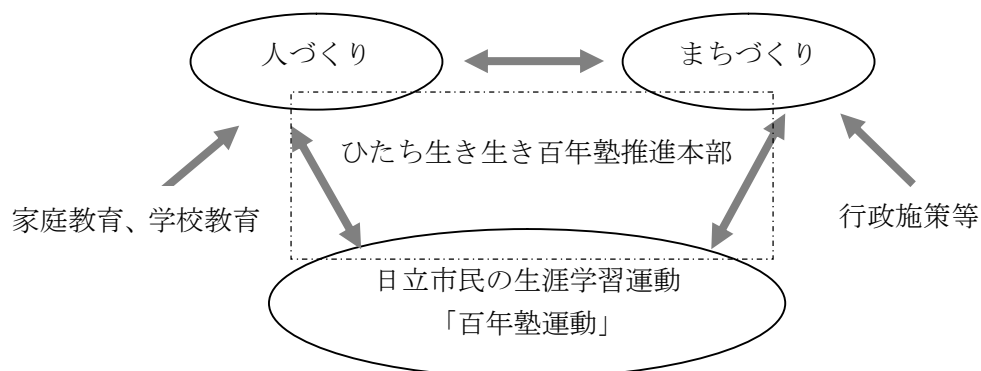


図1：百年塾推進本部と百年塾運動・ひとづくり・まちづくりのイメージ

## 1.4 百年塾のめざすまちづくり



百年塾のめざす人づくり・  
まちづくりとはなんですか？

百子：平成5年(1993)の「百年塾イメージプロジェクトチーム」の答申書の中で次の6項目が提唱されました。これが百年塾の目指す日立市です。

きれいなまち	美しい・クリーンなまちをつくるため、市民や企業や、地域などが一緒になってごみ減量、地域清掃、緑や川を守る運動、花いっぱいなどの活動をしています。
やさしいまち	やさしいまちを実現するため、障害者や高齢者が、健康で安心して暮らせる地域福祉の充実、完全なまちづくりなど、子どもからお年寄り、外国の人たちなどすべての人が安心して暮らせるまちづくりをしています。活動を支えるさまざまな分野のボランティアが増えています。
たのしいまち	たのしいまち実現のため、学校が開放され、地域住民との交流が積極的に行われています。また、交流・スポーツ・福祉などの施設を充実し、市民の活動を活発にしていきます。
共に育むまち	共に育むまちをつくるため、市民、企業、地域、行政が連携していきます。男女共同参画社会の実現、青少年育成や子育てなど、みんなで共に育てあう環境を整えます。
活気のあるまち	市民が地域の産業を応援することで、まちが活気づきます。祭りや各種イベントを通して若者の活躍の場を作り、若い人たちが楽しみ、参加できるまちを作ります。 明るく元気な市民が増えることを目指します。
世界が見えるまち	まちの歴史や文化を学び、市民が自分たちのまちを知り、視野を広げる活動を進めます。 国際的な視野に立ちインターネットで情報をキャッチ、外国の方とも積極的に交流します。

このイメージプロジェクトチームの答申には、その後の百年塾の進め方として、百年塾が「住みよい日立のまちづくり」であることを、市民のだれもが容易にイメージできるためにどうすればよいか、広報・市民教授・企業や学校との連携、その体制や財源についてもいろいろ検討した結果が、報告されています。

右のシンボルマークは川村昭雄さんの作品です。「見る 聞く さがす 夢がある」のキャッチフレーズは川澄とき子さんと滝内信人さんの作品です。

百年塾運動の発足のきっかけとなった、「ひたち生き生き百年塾プラン」には、「生涯学習とは」として次の文章が載っています。

人間生まれて死ぬまで生きるということが、すべて学習といえるだろう。しかし、花園の中に座して花が見えないことがある。花を見ようという意志、花を探そうという努力、そして、その花園の花を美しく咲かせる協力——。知らず知らずのうちに他人を支え、自分も支えられながら歩いていく自己発見の旅路が生涯学習といえる。



## 1.5 生涯学習とは



「生涯学習」という言葉について、もう少し詳しく教えてください。

「教育」について調べていたら、「家庭教育」「学校教育」「社会教育」という3つが出てきました。生涯学習というのはこの中の従来の社会教育の部分なのですね。

百子：生涯学習とは、従来の狭い意味での社会教育を超えた、多世代、多分野、多セクターにおける主体的、統合的な学習とされています。

はっきりした目的を持って行われる企業内教育や、従来の社会教育と異なり、「自己の充実を目指して、自己に適した方法で、主体的にいつでも、どこでも、一生涯続けるもの」とされています。

生涯学習はスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーションや、場合によっては職域など広い範囲におよびます。生涯学習を通じて、たんなる自己の向上だけでなく、地域やまちづくりに貢献できるようにむすび付けていくことが、大切になってきています。

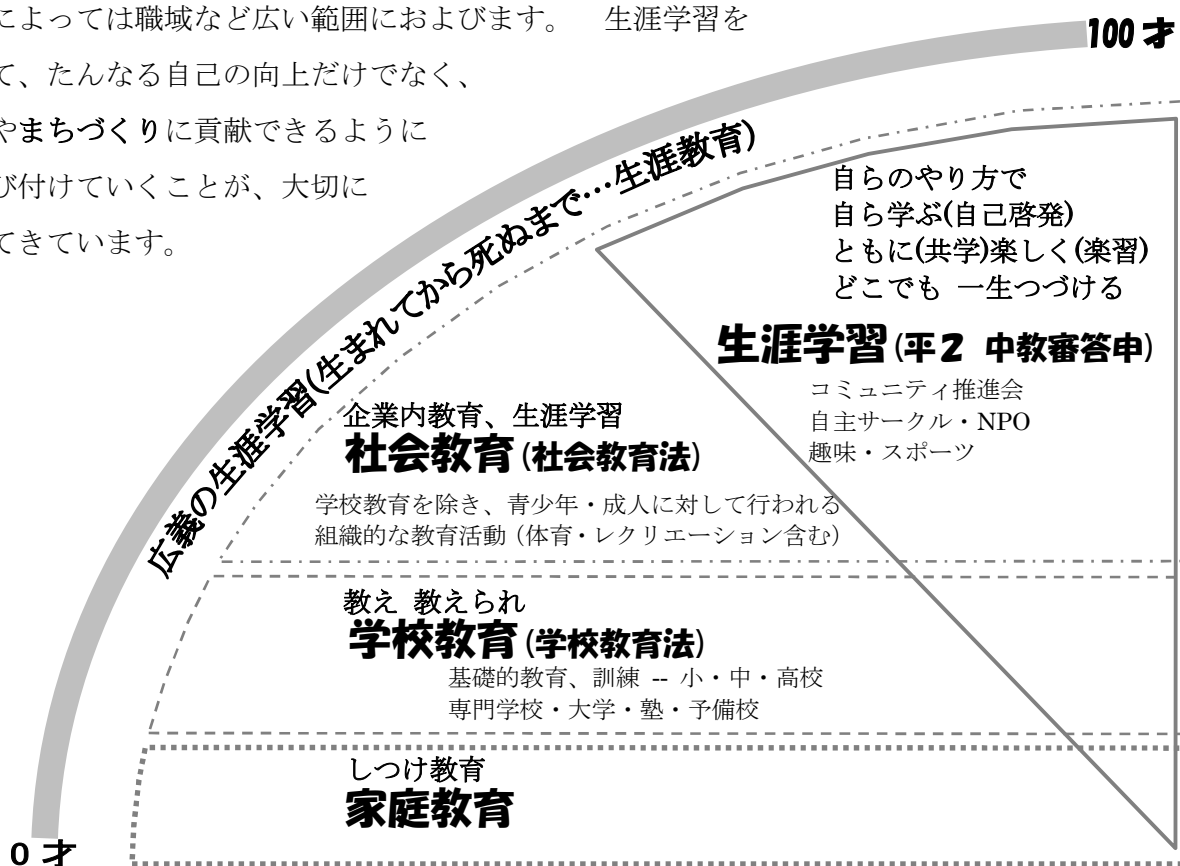


図2 生涯学習のイメージ

生涯学習とは	<p>①生涯学習は、自己の充実、生活の向上、職業上の能力向上を目指し、各人が自発的な意思にもとづいて行う自由で広範囲な学習である。</p> <p>② 生涯学習は、可能なかぎり自己に適した手段および方法を自ら選びながら、生涯をとおしておこなうものである。</p> <p>③ 生涯学習は、学校や社会で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、市民のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動等の中でも行われるものである。</p>
--------	---



## 1.6 生涯学習推進と推進委員の役割



「推進委員」は、市民の生涯学習を推進する人たちですね。

百子：そのとおりです。百年塾を動かしているのは推進委員です。百年塾の理念に賛同し、日立市における生涯学習を積極的に推進する意思のある人は推進委員に登録することができます。推進委員は専門部会に所属しなければなりません。

百年塾推進委員として大切なことは、本人の生涯学習と市民に対する生涯学習推進とは区別して考えないといけないということです。

この「生涯学習推進」については、平成16年(2004)の中教審答申のなかで、次のような点が重要な点として上げられていて、推進のためにやらねばならないことを示しています。

<b>生涯学習推進とは</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民にたいする適切な学習機会の拡充と学習活動への支援をすること。</li> <li>② 市民や自主グループの生涯学習の成果を発表する機会や場を増やすこと。</li> <li>③ 市民が地域や職場で、その成果を活用出来る機会や場を拡充すること。</li> </ul>
-----------------	---

つまり市民の生涯学習に対して、学習機会の提供、必要人材の育成と紹介、成果発表の場の提供、生涯学習関連情報の提供や相談窓口などが、百年塾推進本部に期待されており、その実行メンバーが推進委員なのです。

平成19年度(2007)の課題検討委員会で推進委員とその役割について検討し、次のようにまとめられています。

<b>推進委員 および その役割</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 百年塾運動を進めるための専門部会構成員を推進委員という。</li> <li>② 日立市における生涯学習を積極的に推進する意思のある人は誰でも随時推進委員に登録することができる。</li> <li>③ 推進委員の更新や所属変更は2年ごとに定期的に行うことができる。</li> <li>④ 専門部会で決定した活動方針や事業計画に基づき活動する。</li> <li>⑤ 地域コミュニティ、ボランティアグループ、自主グループ等とかかわり、ニーズを把握し、それらをサポートする。</li> </ul>
------------------------------	--

推進委員のその他の仕事として、部会（毎月の定例会議）開催に関すること、企画会議の開催、関係資料の作成、部会推進委員への連絡調整に関すること、行事に係わる日程の決定や人員の配置、必要備品の準備などなどがあります。

百年塾は推進委員のボランティアで成り立っています。原則として旅費も日当もありません。ただし、事業のために、実際の活動に使う材料費や消耗品などの経費、研修のためのバス代や、フェスタや講演会の会場費、講師の謝金などは、日立市からの補助金でまかなわれています。

このほかに平成14年度(2002)から、企業などの団体や、市民教授・推進委員・一般市民に呼びかけて、協賛金を募集しております。これは百年塾運動を活性化するための、主として新しい事業の資金になっています。協賛金は百年塾サロンで受け付けております。

## 1.7 百年塾推進本部の構成

百子：次のページの図3は百年塾推進本部の構成です。

本部長は市長で、事務局は日立市教育委員会の生涯学習課の中にあります。また、市役所の中の生涯学習に関係の深い部署の人で市役所内委員会を構成し、その人たちの一部が推進委員として部会の中に入って活動しています。

つまり、市民と行政が協働して、市民や学校、企業、JA、漁協など各種団体まで含めたまち全体の生涯学習を推進する体制になっています。

## 1.8 百年塾 各種会議の構成と任務について



百年塾の各種会議の構成と任務についてはどうなっているのですか？

百子：百年塾で開催されている各種会議の構成と任務については表1を参照ください。

## 1.9 百年塾 専門部会の内容



百年塾を構成している専門部会の業務内容について教えてください。

百子：専門部会の業務内容は以下のようになっております。

### (1) 情報部会

- ① 広報紙やホームページでの情報発信により市民の百年塾活動を支援する。
- ② 百年塾活動のきっかけづくりや広報活動の支援をする。

### (2) ネットワーク部会

- ① 各種団体、コミュニティ推進会、市民団体などとの連携・協働の窓口となる。
- ② 百年塾活動を発展、充実させるため、広く人材の発掘とその育成に努める。

### (3) 学校部会

- ① 地域教育力を活用し特色ある学校づくりを支援する。
- ② 子どもの国際理解活動を支援する。
- ③ 地域における子ども会行事への支援を充実させる。

### (4) 人財部会

- ① 市民教授・まちづくり人材・日立のまち案内人がそれぞれの分野で共に学び、教えあう活動ができるように支援する。
- ② 上記の活動を通じて、多くの市民との交流を図り、住みよいまち作りに貢献できるような事業を推進する。

なお、人財部会は人は財産というところからこの名称が付けられている。

### (5) 産業部会

- ① あらゆる産業にたずさわる人々が、生涯学習を行うために役立つ活動をする。
- ② 市民が日立の産業をよく知り産業とまちを元気にするための働きかけを行う。

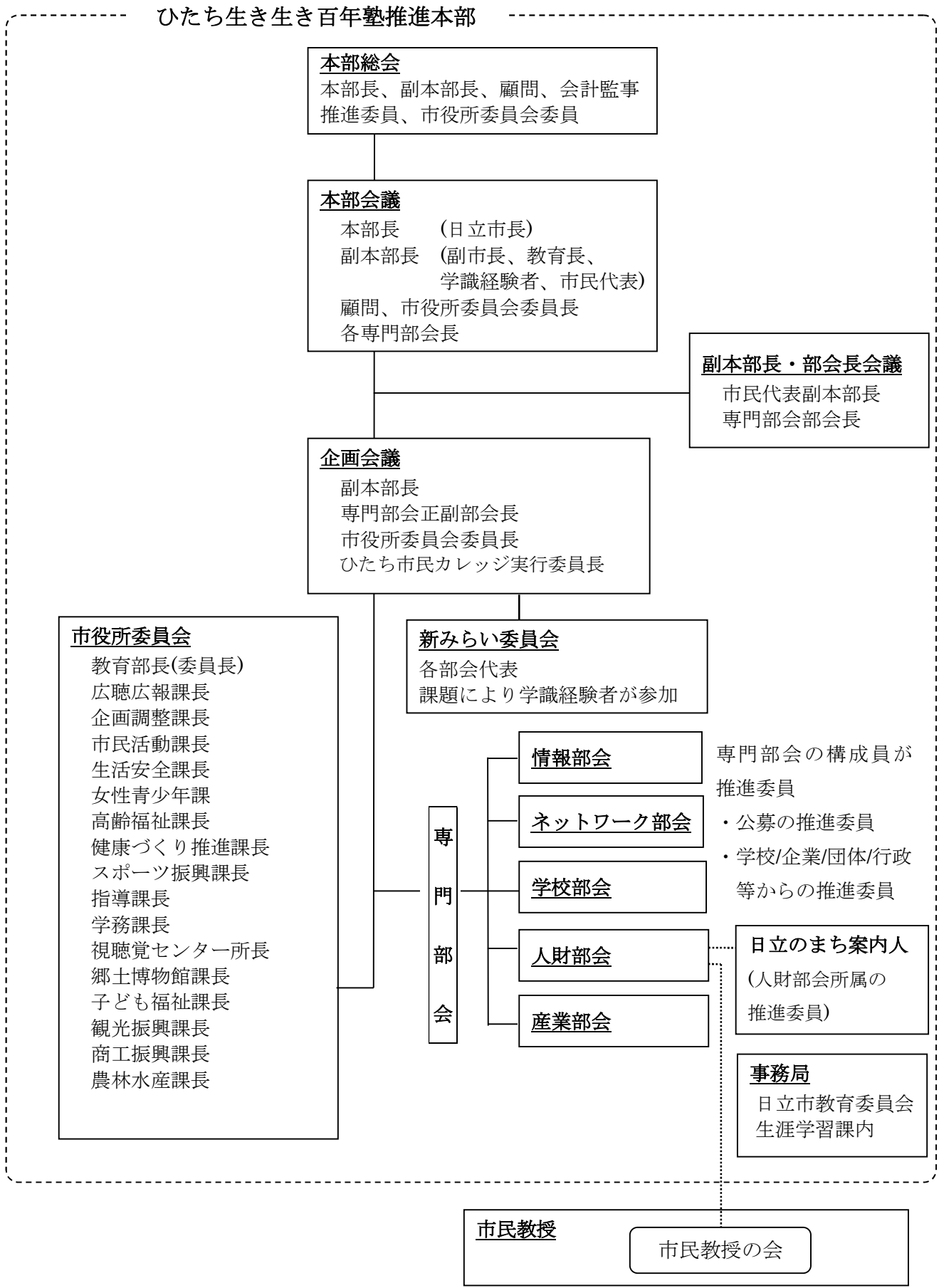


図3 百年塾推進本部の構成

表1 百年塾会議の構成と任務一覧表

名 称	構 成	任 務
本部総会	本部長 副本部長 顧問 会計監事 推進委員 市役所委員会委員	年1回開催 (1) 活動方針の審議・承認 (2) 事業計画及び事業報告の審議・承認 (3) 予算および決算の審議・承認 (4) 「本部設置要項」の改正等の審議・承認 (5) その他の重要な事項の審議・承認
本部会議	本部長 副本部長、顧問 市役所委員会委員長 各専門部会長	本部長から招集のあったとき随時開催 百年塾運動の基本的事項の検討及び調整
副本部長・部会長会議	市民選出の副本部長 専門部会長	随時開催 百年塾全般にわたる事項を検討、企画会議に提案 (1) 活動方針、事業の検討 (2) 部会に関連する事業の部会間の調整 (3) 各部会間事業等の検討と調整、事業仕分け (4) その他の審議事項の検討
企画会議	市民選出の副本部長 専門部会正副部会長 市役所委員会委員長	月1回定例開催 (1) 各部会事業の把握及び審議・決定 (2) 全体事業の審議・決定 (3) 「新みらい委員会」への諮問内容の審議 (4) 協賛金の募集・管理運営と活用 (5) その他必要事項の決定
専門部会	公募の推進委員 学校、企業、団体、行政等からの推進委員	随時開催 (1) 部会事業の検討及び事業の企画立案 (2) 具体的な事業の実践
新みらい委員会	各部会代表 副本部長 検討するテーマに応じたアドバイザー	常設、ただし下記の必要事項が発生時に随時開催 (1) 企画会議からの諮問を受けて、その内容の検討、答申 (2) 推進委員からの提案等を受けて、その内容を検討、企画会議に報告し検討を依頼
実行委員会・プロジェクト	推進委員 事業を共催する関係者	横断的な事業の実施 企画会議で設置を承認する。
市役所委員会	市役所関係課所	百年塾運動推進に関わる事項を、市役所内の関係課所が随時集まり協議する。

## 1.10 市民教授について



百年塾というと市民教授を連想するのですが、市民教授について教えてください。

百子：百年塾運動は、楽しく教えあい学び合うことが基本です。教えたい人を市民教授と呼びます。いろいろの専門分野で知識や特技、技倆をもった人で、日立市の生涯学習の趣旨に賛同し、希望する市民にボランティアで指導ができ、百年塾に登録した人をいいます。

自分の経験・技倆で登録でき、資格は不要で、趣旨に賛同して市外や県外から登録していただいている方もいます。

市民教授が講師として指導をするときの謝礼は、引き受ける前に受講者側と相談して決めることになっていて、百年塾では謝礼金については介入しません。市民教授自身の勉強代も原則自己負担です。

市民教授の登録は百年塾サロンで受け付けています。教えられる内容や条件、特に講座の経験など実績があればそれらを「市民教授活動実績個人票」に書いていただき登録しておきます。

市民教授に登録されると百年塾の広報紙「ひろば」、百年塾のホームページ、人材名簿（市内の交流センターなどに配布、備え付けられている）などで広報されます。

市民教授に登録したからといって、どこからか自動的に講師の依頼がくるわけではなく、あくまで市民教授に登録した人の積極的な自主活動が必要です。市民教授は、人財部会が開設する「生き生き講座」に開設を希望しますと、市報や百年塾広報紙「ひろば」などで広報して受講者を募集してもらえ、また、会場の手配や、講座開催の手伝いをしてもらえます。

百年塾と市民教授をつなぐ仕組みとして「市民教授の会」があります。市民教授に登録しますと自動的に入会することになります。入会費や会費はいりません。

「市民教授の会」では市民教授どうしの「交流会」が開催されております。

市民教授の広報紙「ほっぷ・すてっぷ」が発行され市民教授の活動状況が紹介されます。また、百年塾フェスタなどのイベントを利用して、活動成果の発表することができます。市民教授に講座を依頼するときは百年塾サロンに相談するか、「人材名簿」や百年塾のホームページに記載されている「人材名簿」で探すことができます。また、百年塾サロンには個々の市民教授の今までの講座開設の実績など、詳しい内容の台帳「市民教授活動実績個人票」があり、これからも探すことができます。

## 1.11 日立のまち案内人について



日立のまち案内人とはどういう人たちですか？

百子：「日立のまち案内人」はひたち生き生き百年塾推進本部に所属する推進委員です。

2002年に百年塾の協賛金を活用した最初の事業として行われた養成講座に参加された方が中心になり、日立市の観光スポットを案内するために、研修と研鑽を積んで立ち上がったボランティアグループです。

日立市には市民や日立を訪れる人たちが楽しむことができ、また、知識を深められる多くの文化財、施設、自然があります。これらの観光資源をボランティアで案内し、日立のまちの再発見に役立つようにまた、日立の良さを知って頂くために活動をしている人達です。

年男：日立のまち案内人はどんなことをするのですか？

百子：市民や訪れた人からの要請で案内する「出前案内」と、日立のまち案内人が独自に企画した「公募案内」の2つの方法があります。いずれも百年塾サロンが受付の窓口になっています。「公募案内」は市報などに募集の案内が掲載されます。

年男：日立のまち案内人にはどうしたらなれますか？

百子：百年塾サロンで推進委員に登録します。日立のまち案内人は人財部会の所属になります。

登録に当たって資格は特になく、登録料などは一切かかりません。

活動はボランティアですが、資料代、材料費、交通費などについては依頼する側の負担となります。

案内の依頼は百年塾サロンで受付けます。案内人の定例会議では会員相互に講師役をやり、勉強をする機会を作っています。

## 1.12 百年塾と他の団体との連携



市民の生涯学習というと、他にもたくさんの団体がありますね。

百子：はじめにお話ししたように、「日立市民の生涯学習を百年塾運動」と名付けたのですから、コミュニティやいろいろな自主グループ、ボランティア団体や高齢者クラブなども、すべて百年塾運動のめざしている対象です。

現在、市内の学区単位に交流センターがあり、そこを拠点に23のコミュニティ推進会があります。また交流センターのほかにも多賀図書館、女性センター、シビックセンターなど沢山の公的施設があり、それらの施設を利用して、2000を超える自主グループが活動しているほか、各地域の高齢者クラブでも文化活動、健康づくり、奉仕活動などが活発に行われています。

百年塾という、下の図で実線の部分(百年塾推進本部)に、一緒に活動している市民教授を加えた二点鎖線の部分を思い浮かべるのが多くの人の実感でしょう。

「百年塾運動」の推進という観点から見ますと、一点鎖線まで含めた団体との連携を推進していかなければなりません。

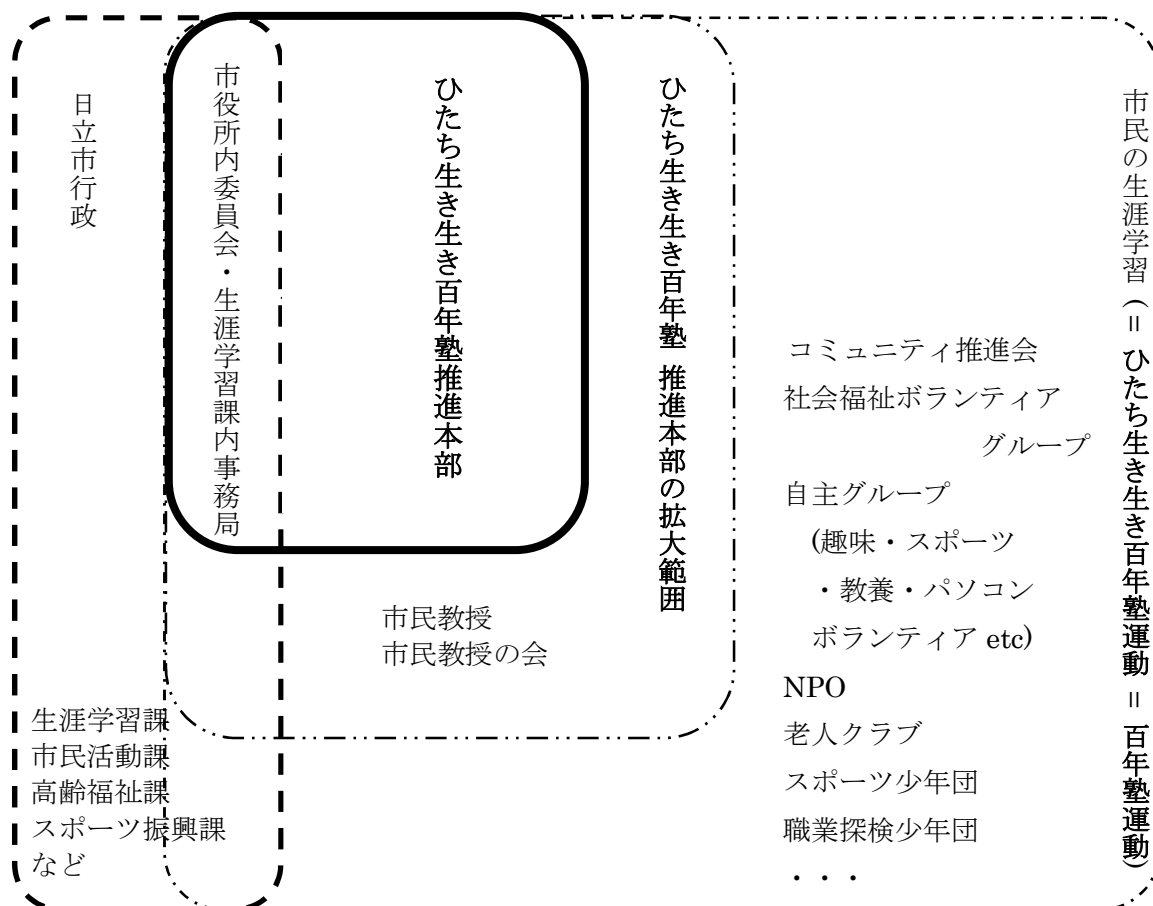


図4 ひたち生き生き百年塾推進本部と日立市生涯学習の関係の現状

## 2. 百年塾の事業の基本方針と主な具体例

### 2.1 事業の基本方針

百年塾の行う事業については、ひたち生き生き百年塾推進本部設置要項の第2条にまとめられており、平成20年度(2008)の本部総会において次のような「事業の基本方針」が再確認されている。(添付資料-7 参照)

百年塾事業の基本方針	<p>①広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供 百年塾の広報による市民の生涯学習啓発。生涯学習に関する情報の収集と提供、生涯学習相談の実施。</p> <p>②関係団体とのネットワークの強化 各種団体、コミュニティ推進会、市民団体などとの連携。</p> <p>③学校教育の支援と健全な子どもの育成支援 地域の教育力を活用し、幼稚園や学校が楽しくなるような学校づくりの支援。健全な子どもの育成支援。</p> <p>④まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進 まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授の登録・活用の促進。地域で活動する人材、生涯学習運動を推進するリーダーの発掘・育成。</p> <p>⑤住みよいまちづくり活動と産業の活性化 農林・水産・商工など、あらゆる産業に携わる人に働きかけ、まちを良く知り、まちを元気にするための働きかけを行う。</p> <p>⑥市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供 講座・講演会・研修会等による市民の生涯学習機会の提供。生涯学習の成果発表の場の拡充。推進委員の自己啓発・相互啓発を推進。</p> <p>⑦百年塾運動全体の調整 百年塾の新規全体事業も積極的に実施する。</p> <p>⑧その他、百年塾運動推進に必要な事業</p>
------------	--

以下に、事業の具体的実施例を示す。各表の「目的分類名」に表示した①～⑧は、上の表の基本方針の番号を示す。

### 2.2 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供

#### ひろばの発行

事業名	広報紙「百年塾ひろば」の発行
推進部会名	情報部会
目的分類名	① 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供 ② 関係団体とのネットワークの強化 ⑧ その他(市民の意識啓発、まちづくり、役立ち情報の提供)
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A4×4頁カラー版を年4回発行し、小・中学校、公共施設、スーパーマーケットなどに配布・設置し、市民に提供している。</li> <li>・ 市民への情報提供とともに、市民の生涯学習を紹介し、活動のきっかけ作りとなるような情報紙を心がけている。</li> <li>・ 百年塾運動の目指すところを基本に、多くの市民を紙面に登場させている。</li> </ul>



### ひたち生き生き百年塾ホームページ

事業名	ひたち生き生き百年塾ホームページの維持・管理
推進部会名	情報部会
目的分類名	① 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供 ② 関係団体とのネットワークの強化 ⑧ その他（市民の意識啓発、まちづくり、役立ち情報の提供）
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成11年度(1999)に立ち上げて以来、百年塾関連の情報を発信している。</li> <li>・ホームページ委員会を設置して、市民が知りたい情報を市民目線で分かり易く提供している。</li> <li>・百年塾のイベントや講座の案内をタイムリーに掲載し、募集している。</li> <li>・市民教授の情報や日立のまち案内人の活動や情報などを掲載している。</li> <li>・百年塾の事業計画や報告、各部会、プロジェクトの活動報告を掲載している。</li> <li>・広報紙「百年塾ひろば」のバックナンバーも閲覧できるようにしている。</li> <li>・この委員会では日立市コミュニティ推進会のホームページ開設の支援を行い、各コミュニティ推進会のホームページ開設のための「ホームページセミナー」を開催し、出前講座も実施しながら開設を支援してきた。</li> <li>・百年塾のホームページ <a href="http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/">http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/</a></li> </ul>

### 広報セミナーの開催

事業名	広報セミナーの開催
推進部会名	情報部会
目的分類名	① 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供 ② 関係団体とのネットワークの強化 ⑧ その他（市民の意識啓発、まちづくり、役立ち情報の提供）
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に市内の小・中学校の広報委員を対象に、毎年5月に広報紙づくりのセミナーを開催し、広報活動の支援を行っている。</li> <li>・セミナー内容は、広報紙づくりの基本的考え方や技術に関する講話と編集の仕方のワーキングを実施している。</li> <li>・上記のほか、広報紙の編集にあたり、アドバイスを希望する学校に出前で支援を行っている。</li> </ul>

## 他の団体のホームページ作成支援

事業名	ホームページセミナー
推進部会名	情報部会(ホームページ委員会)
目的分類名	② 関係団体とのネットワークの強化 ④ まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進 ⑧ その他(百年塾の持つ技能や経験を生かした市民や団体の支援)
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの最前線で活動するコミュニティ推進会(単会)の活動を全国に発信するためのホームページ開設と更新を支援している。</li> <li>・コミュニティ推進会のリーダーを対象としたホームページセミナーの開催。</li> <li>・コミュニティ単会では、広報活動に力を入れて住民への情報提供を必要としているので、情報部会の技能を生かしたセミナーを開催してきた。</li> <li>・ホームページの立ち上げ時には交流センターに出かけて、出前で支援した。</li> </ul>
特記事項	23の学区コミュニティ推進会のホームページ: <a href="http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/statics/shikatsu/comisui-link.html">http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/statics/shikatsu/comisui-link.html</a>

## 2.3 関係団体とのネットワークの強化

### コミュニティ推進会との連携

事業名	コミュニティ推進会との連携
推進部会名	ネットワーク部会
目的分類名	② 関係団体とのネットワークの強化
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク部会では市民の生涯学習に関連する各種団体との連携を進めるべく活動しているが、現在その中で、特に平成18年度(2006)から一律に地域住民の生涯学習活動の拠点として呼称統一された交流センターを訪問し、コミュニティ推進会との連携を重点に活動している。</li> <li>・具体的方策</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 時期に応じて、コミュニティを訪問し交流の機会をつくり、百年塾との関係の強化</li> <li>② 百年塾のイベントなどに参加要請</li> <li>③ 生涯学習に関する情報提供および研修会などへの参加呼びかけ</li> <li>④ イベントの共催、後援</li> <li>⑤ 出前講座、講演会など地域での開催を検討、実施等具体的な行動の実現を図る。</li> </ol>

### グループ情報システム

事業名	グループ情報システム
推進部会名	ネットワーク部会
目的分類名	① 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供 ② 関係団体とのネットワークの強化 ⑧ その他(市民の意識啓発、まちづくり情報の提供)
目的・内容	(1) 日立市内にはたくさんの自主グループや団体が活動している。市民が何か趣味を始めたい、ボランティアを始めたい、健康を維持したいなど同好の仲間をつくりたいと思った時に、容易に希望のグループを検索できる情報システムを、インターネットとガイドブックで提供している。 (2) これまで各学区の交流センター、女性センター、多賀図書館、県北生涯学習センター、社会福祉協議会で活動するグループや、各協会に所属するグループに働きかけ、約 700 のグループの活動内容・場所・定例日、入会情報などを提供している。 (3) データ処理の自動化とグループの連絡者網の整備に努め、常に新鮮な情報が提供できる仕組み作りに努めている。
活動の特徴	毎月 2 回の研究会を設け、Microsoft の Office マクロや、データベースを駆使したネットワーク・通信技術に関する、推進委員の研鑽の場所となっている。
特記事項	(1) <a href="http://iki100j.main.jp/groups/">http://iki100j.main.jp/groups/</a> にて、容易に検索できる情報を提供 (2) グループ情報ガイドブック…交流センターなど 50 の公的施設窓口を設置

### 百年塾フェスタ

事業名	百年塾フェスタ
推進部会名	本部事業(百年塾フェスタ実行委員会)
目的分類名	② 関係団体とのネットワークの強化 ⑤ 住みよいまちづくり活動と産業の活性化
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百年塾の事業を市民に理解してもらう場として、平成 4 年(1992)から毎年 1 回開催している。</li> <li>・過去のフェスタでは日立新都市広場のほか、教育プラザと市民会館、多賀市民プラザなどでも開催している。</li> <li>・実行は毎年「百年塾フェスタ実行委員会」を組織して全体計画をし、開催テーマを決め、本部事業のほか、各部会の盛り沢山のイベントを屋内、屋外テントなどに展開し、多くの市民との交流の場となっている。</li> <li>・内容は百年塾の活動の紹介、市民教授の活動成果の紹介などのほか、ものづくり、環境テーマなど、子どもを含む市民が参加・体験できるテーマも沢山用意して、楽しいまつりの雰囲気も作っている。</li> <li>・平成 19 年度(2007)の「企業都市まちづくりフォーラム」、平成 20 年度(2008)の「地域資源活用によるまちおこし」市民ワークショップなど、市民と一緒に考えるイベントや、コミュニティ推進会からの参加も活発になってきている</li> </ul>

## 2.4 学校教育の支援と健全な子どもの育成支援

### 推進園・校 支援事業

事業名	推進園・校 支援事業
推進部会名	学校部会
目的分類名	③ 学校教育の支援と健全な子どもの育成支援
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の学校教育は、生涯学習の基礎づくりの大切な時期と場を担っている。そのためには、学校が地域社会を教育的な目的のために積極的に活用することが大切である。地域の自然や文化の教材化、地域の諸施設の活用、地域の人材の活用などがそれである。特に、学校が地域社会をその教育的目的のために活用するためには、地域人材の協力・支援がなくては効果を上げることは難しい。</li> <li>・学校部会は、毎年市内の幼稚園、小中学校の中から9園・校を選び、人材の地域教育力の活用を促し、活動費の一部補助を支援してきた。それを受けて、推進園・校は、積極的に地域の人材やゲストティーチャーを学校教育の活動の中に取り入れ、地域の人たちと触れ合いながら、地域社会を学び、文化を体験してきている。また、それらの活動の様子をホームページや百年塾フェスタなどのパネル展示を通して市民にも広く紹介し、理解を図っている。</li> </ul>

### 地域における子ども行事の支援

事業名	地域における子ども行事の支援
推進部会名	学校部会
目的分類名	③ 学校教育の支援と健全な子どもの育成支援
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域における子ども会行事の支援」活動は、平成20年度(2008)からスタートした。</li> <li>・“子どもの姿の見える支援”をということで、子どもたちの生活の場である地域に目を向け、地域で活動する子ども会や子どもを支援するグループ・団体の活動に対しての子ども行事を支援していこうとするものである。</li> <li>・支援内容は、学校部会の推進委員の派遣や人材の相談を支援していく。毎年公募により支援グループを決め、活動経費の一部を補助している。</li> </ul>

### ゲストティーチャー活用事業

事業名	ゲストティーチャー活用事業
推進部会名	学校部会
目的分類名	③ 学校教育の支援と健全な子どもの育成支援
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーとは、百年塾の主旨に賛同し、百年塾人材名簿に「ゲストティーチャー」として登録している「市民教授」や、各幼稚園・小中学校で、授業や事業を支援協力する「地域人材」などである。</li> <li>・各幼稚園・学校は、人材名簿の中から選択し、事前に、活用に必要な手続きをしてから実施する。</li> </ul>

目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・学校の授業や事業を対象とし、PTA事業などは対象外であるが、授業時間に親子が参加する事業は対象となる。</li> <li>・交通費の補助や報酬はないが、傷害保険に加入し活動中の事故などに対応している。</li> </ul>
-------	---

### 子どもの国際理解を図る事業

事業名	子どもの国際理解を図る事業
推進部会名	学校部会
目的分類名	③ 学校教育の支援と健全な子どもの育成支援
目的・内容	<p>日立の子供たちの「国際理解活動」を支援している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワールドキャラバン（外国人講師派遣事業）の導入推進を支援する。</li> <li>・姉妹都市とのメールによる交流プログラムの充実を図る。</li> </ul> <p>学校給食・学校スポーツ等の写真の交換、年賀状の交換等が小中学校で行われており、それを支援している。</p>

## 2.5 まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進

### ひたち市民カレッジ

事業名	ひたち市民カレッジ
推進部会名	本部事業(ひたち市民カレッジ実行委員会)
目的分類名	④ まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百年塾は生涯学習の場であると同時に、市民の生涯学習推進を目的としている。そのため次のような人材の育成を行うべく、「カレッジ」を開講している。</li> <li>① 地域に入って活動する人を育成する</li> <li>② 自ら生涯学習を実践する人を育成する</li> <li>③ 市民活動グループに参画して、生涯学習を推進する人を育成する</li> <li>・受講者は一般市民から42名を上限として募集する。期間は6月～12月、週1回、20日間、40単位(1単位は約2時間、1日に2単位)。</li> <li>・茨城キリスト教大学の共催を得て、主なる場所と講師の協力を頂くが、地域活動に役立つ「まちづくり・人材育成」の講師には、まちの人材を起用する。</li> <li>・単に講義を聴くだけでなく、受講者が自ら協議して企画する内容も設ける。</li> <li>・カレッジを通して、百年塾の活動を理解してもらい、修了者に百年塾を紹介希望者には推進委員として生涯学習に寄与する活動をしてもらう。</li> </ul>
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来、県民大学をはじめ、県北生涯学習センターや市内コミュニティ、百年塾などの主催する各種の講座・講演会は数多くあるが、いずれも単発的であるので、人材育成の意味では難点があった。</li> <li>・そこで比較的長期間の講座とすることにより、まちづくり参画への動機付けと仲間意識の醸成を図るようにした。</li> <li>・「生涯学習によるまちづくり」に関連する講座や、「仲間づくり」のためのグループ活動や自主企画の講座をバランスよくアレンジすることにより、楽しみながら生涯学習推進者としての自覚の醸成を促すようにした。</li> </ul>
特記事項	多数の修了者が百年塾活動に参加し、専門部会の責任者として積極的な活動を展開している。また、コミュニティ推進会などの活動にも高い関心が寄せられた。

### 市民教授への支援事業

事業名	市民教授への支援事業
推進部会名	人財部会
目的分類名	④ まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進 ⑥ 市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供
目的・内容	<p>1. 活動のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発掘・登録された人材を市民のニーズを考慮し、広報活動等を通して自主活動ができるよう支援する。</li> </ul>

目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録された人材が、百年塾の理念を理解し、互いに交流し研修・親睦を深め多くの市民と共に学びあい、教えあい、楽しみあうことができる活動を推進する。</li> <li>2. 主な支援行事</li> <li>・市民教授連絡会議開催(年2回程度) <ul style="list-style-type: none"> <li>① 年度当初は百年塾の事業計画概要と講座の説明</li> <li>② 年度中期には百年塾フェスタへの参加要請</li> </ul> </li> <li>・講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民教授のPRと市民のニーズに対応した活動</li> <li>① 市民教授生き生き講座開講 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催を希望する市民教授対象に講座を開講</li> </ul> </li> <li>② 市民教授特別講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>主に人財部会が企画する講座で、履修により、ある程度その分野を修得できることを配慮した講座。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・人材登録者相互の研修交流・親睦を図る <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研修交流・親睦を図る</li> <li>② 「市民教授の会交流会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>該当年度の事業計画・事業内容報告と意見交換、作品展示、各分野の体験公開・演技演奏の発表など市民教授間の交流を図る親睦会（希望する推進委員は部会を問わず参加可能）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・百年塾フェスタなどで市民教授活動成果の発表の場を提供</li> <li>・広報活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>人財部会広報紙「ほっぷすてっぷ」にて市民教授の活動紹介と実施事業等の紹介（年間2回発行）</li> </ul> </li> </ul>
-------	---

### 人材名簿の発行

事業名	人材名簿の発行
推進部会名	人財部会
目的分類名	④ まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進
目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百年塾に登録されている市民教授・日立のまち案内人・まちづくり人材の3つの名簿を1つにまとめたものが「人材名簿」である。それぞれの人材が多くの皆さんに活用していただき、市民の生涯学習活動に役立てばとの思いで作成している。</li> <li>・市民教授は400名弱の方が登録され、指導分野別に24に分類し掲載している。日立のまち案内人には21名、まちづくり人材には9団体(企業)が登録されている。(平成27年度末の数値)</li> <li>・人材名簿は平成20年7月(2008)から「ひたち生き生き百年塾」のホームページで公開されている。これにより、常に新しい情報が提供できるようになった。</li> </ul>
特記事項	名簿は不定期ではあるがほぼ2年ごとに発行されている。

## 2.6 住みよいまちづくり活動と産業の活性化

### 地産地消の支援

事業名	地域資源活用によるまちおこし
推進部会名	産業部会（エコ、観光、地産地消プロジェクト）
目的分類名	⑤ 住みよいまちづくり活動と産業の活性化
目的・内容	<p>1. 目的</p> <p>①豊かな観光資源を生かし工業都市から観光都市化により、「交流人口」増大によってまちの活性化を図る。</p> <p>②地産地消（農産物・水産物）の普及拡大を支援する。</p> <p>③地産地消エネルギーの普及を図る。</p> <p>2. 内容</p> <p>①「豊かな観光資源を生かした産業活性化」（観光プロジェクト） 観光資源の発掘とその活用および情報発信をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本最古の地層」リーフレット見直し、改訂版作成、印刷、配布</li> <li>・ジオハイキングの実施（小木津山自然公園と最古の地層観察） 共催：茨城県北ジオパーク推進協議会（ジオネット日立）</li> <li>・「百年塾フェスタ」でジオパーク「日本最古の地層」をPR</li> </ul> <p>②「地域資源活用による産業活性化」（地産地消プロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚の講演と料理、試食の会を開催する（年1回）</li> <li>・ジオパークの自然を食べて遊んで学ぶ住みよいまちづくりの推進を支援</li> </ul> <p>③「エコ活動による地域活性化」（エコプロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政などと連携し地産地消エネルギーの学習と啓発を進める。</li> <li>・フェアツーリズム国際大会 in 日立市の実行を支援する。</li> <li>・地名の原点「日立（光）」から、未来エネルギーを学び伝える。</li> <li>・face bookなどで、活動を若い世代につなげる。</li> </ul>
特記事項	10年前から取組み、地産地消では未利用の茂宮かぼちゃや未利用魚の活用、さくらダコの商品化など事業化を支援し、観光では日本最古の地層の看板やリーフレット、日立のオンリーワン、ナンバーワンのリーフレットを作成するなど実践の中から学び、まちづくりを推進

### 市民ワークショップ

事業名	多世代交流によるまちおこし
推進部会名	産業部会（ひたちみらいプロジェクト）
目的分類名	⑤ 住みよいまちづくり活動と産業の活性化
目的・内容	<p>1. 目的</p> <p>「ひたちみらい会議」を開催し、多世代交流による「まちづくり」の学習と実践を支援する。</p> <p>2. 内容</p> <p>①「ひたちみらい会議」で、ジオパークの自然を食べて遊んで学ぶ住みよいまちづくりの推進を支援する（年2回）</p>



	②「エコみらい会議」を開催し、地産地消エネルギーの学習と啓発の推進を支援する（年1回）・・・「農山村再生・女性活用」の観点から「里美街道」を取り上げ、その未来を学んで活用を図る。
特記事項	議論だけでなく、実践する人や活動を支援。 ファシリテーター養成も実施。

### 働く人、若い世代への生涯学習支援

事業名	働く独身男女の支援事業
推進部会名	産業部会（婚活チーム）
目的分類名	⑤ 住みよいまちづくり活動と産業の活性化
目的・内容	1. 目的 働く人、若い世代の地域社会参加を支援する 2. 内容 ・働く人たちの婚活の推進および他団体との連携 ・働く独身男女の支援事業（共催含む）を3回／年開催する。 連携：「ひたち出会い応援協議会」ほか
特記事項	市内関連団体の共同事業として実施 働く若い人へ「ひたち生き生き百年塾活動」の普及拡大を図る

### 日立のまち案内人

事業名	日立のまち案内人
推進部会名	人財部会
目的分類名	⑤ 住みよいまちづくり活動と産業の活性化 ⑥ 市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供
目的・内容	1. 目的 ・日立市の自然、歴史、文化等の文化財を学んで魅力的な日立市を知ると同時に誇れる日立市を内外の人々に発信し、「住みよいまち」「楽しいまち」「心豊かなまち」づくりに貢献することを目的とする。 2. 内容 ・市民や日立市を訪れる人々の要請に応じて、日立市の史跡・文化・産業・自然などを案内する事業 ① 観光案内を企画・公募募集 ② 出前講座・案内 ・案内人相互の研修会の開催・先進都市と研修視察交流及び資料収集に関する事業など、常に会員の資質向上を図る。 ・個々の活動は楽しい生きがいのあるボランティア活動の推進を目指し、研修会・交流会などを通して会員相互の意思疎通を図るとともに、生きがいを持つ仲間づくりに努める。 ・その他、目的達成に必要な行政・事業所などとの連携を図る。
特記事項	毎年度 1,000 名以上の参加者を目指して活動。

## 2.7 市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供

### 市民教授の会

事業名	市民教授の会
推進部会名	人財部会
目的分類名	④ まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進 ⑥ 市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供
目的・内容	<p>1. 「市民教授の会」の組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民教授の会」の担当部会は人財部会である。</li> </ul> <p>2. 会の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民教授は個々に活動をしているため、横のつながりが不足しがちであるので、相互の情報交換や研修、体験により個々の力量のレベルアップと親睦を図ることを目的としている。</li> </ul> <p>3. 会員資格</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民教授になれば全員会員になる。入会費、会費などは取らない。</li> </ul> <p>4. 活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な行事は「市民教授交流会」の開催で、会員相互が講師になってその方の分野の講座・体験研修会、懇親会・情報交換・百年塾フェスタへの協賛、他。</li> </ul>
特記事項	・「市民教授の会」の行事には、所属部会に関係なく推進委員も参加することができる。

### 講演会・講座の開催

事業名	講演会・講座の開催
推進部会名	本部事業
目的分類名	⑥ 市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供
目的・内容	<p>生涯学習に関するテーマ、健康など高齢者が関心の高いテーマ、日立市を知り、日立市の歴史を知るためのテーマ、環境問題やまちづくりに関連するテーマなどについて、市民に公開する規模で、講演会や公開講座を実施している。</p> <p>特に15周年、20周年など節目を記念した開催が多い。</p> <p>最近の実施例：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成15年10月(2003) 落合敏氏講演会 「生活習慣病予防のための食生活」</li> <li>・平成16年3月(2004) 三浦雄一郎氏講演会「70歳の挑戦」</li> <li>・平成18年2月(2006) 落合敏氏講演会 「健康と食生活」</li> <li>・平成19年3月(2007) 柳生博氏講演会 「森と暮らす、森に学ぶ」</li> <li>・平成20年1月(2008) 武田昌憲氏講座 「風林火山・山本勘助の生き方に学ぶ」</li> <li>・平成20年7月(2008) 福留強氏講演会 「生涯学習による人づくり、まちづくり」</li> <li>・平成20年10月(2008) 大田仁史氏講演会「茨城県の介護予防とシルバーリハビリ体操」</li> </ul>

## 2.8 その他

### 推進委員研修会

事業名	推進委員研修会
推進部会名	本部事業
目的分類名	① 広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供 ⑦ その他、百年塾運動推進に必要な事業
目的・内容	<p>推進委員は円滑な生涯学習推進の指導的役割を期待されており、常日頃から研鑽が必要である。</p> <p>そのために、年1回の研修を実施している。</p> <p>① 百年塾の活動についての研修会 本部事業・他の部会の事業など、百年塾についての理解を深める。</p> <p>② 生涯学習に関連する講演会 全国的な情報を含んだ講演を聴き、日立市の百年塾の状況を客観的に理解、発展的な活動への一助とする。</p>
特記事項	百年塾の生涯学習運動を、内からと外からの両面より見て、更なる発展につなげることが出来る。

### 百年塾推進委員通信「WAVE」の発行

事業名	百年塾推進委員通信「WAVE」の発行
推進部会名	ネットワーク部会
目的分類名	⑦ その他、百年塾運動推進に必要な事業
目的・内容	<p>百年塾推進を円滑に行うには推進委員の一体化は必要不可欠である。</p> <p>この目的のため、推進委員向け情報紙「WAVE」を発行している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行回数：年3回</li> <li>・紙面サイズ:A4 4ページ</li> <li>・内容 紙面は概略以下の項目で構成されている</li> </ul> <p>① トップページ：期間の主たる百年塾事業実績概要を紹介</p> <p>② 百年塾年間予定:年度最初の号で各部会行事の概略日程を紹介</p> <p>③ 部会トピックス:各部会事業の概要紹介、推進委員の活動状況</p> <p>④ 推進委員の声：推進委員の日ごろの考えや思いなどを紹介</p> <p>⑤ インフォメーション：時期の迫った事業内容をできるだけ詳細に紹介し、推進委員の関心を高め参加を促す。その他、推進委員に資する情報</p>
特記事項	推進委員にとって、百年塾や他部会の事業や、他部会の推進委員を知るために、フェスタなど本部事業、本部総会、視察研修などへの積極参加が重要である。本情報紙もまた、それらを知り、新しい事業の提案や意見発表の場として活用されている。

### 3. 企画会議決議事項

企画会議でいろいろの事柄が決定されているが、それらは議事録に収納されていて通常業務遂行上見落とすこともあるため、今後の事業に係わる事項につき以下に整理した。

#### 3.1 次年度の事業計画

年度予算編成時に、部会ごとに「年度事業計画書」（添付資料-1、2）を作成、提出し、副本部長によるヒアリングを実施した後、企画会議で審議し、本部総会で承認を得る。定常的な事業、早期着手事業など、総会前に新年度予算として着手、または出金が必要な場合は、企画会議の決定で着手、または出金することができる。

#### 3.2 「事業計画書」、「事業報告書」

総会で承認された事業は実施にあたり、部会、委員会またはプロジェクトで「事業計画書」（添付資料-3）を作成し、事業を行う2ヶ月前までの企画会議に提案し審議を受ける。事業終了後はすみやかに、「事業報告書」（添付資料-4）を作成し、企画会議に報告する。「事業報告書」には、必要により参加者名簿、配付資料、領収書のコピー、アンケート結果、議事録等を添付する。報告書末尾欄に反省事項または感想を記入する。

#### 3.3 新規事業提案に当たっての注意事項

新規事業の提案前の段階で、事前調査、研究をしようとしたとき、その進め方で誤解を生み混乱が生じることがあってはならない。そのため企画会議決議事項201403「新規事業立ち上げについて」（添付資料-5）に示す事項を守る。

#### 3.4 協賛金活用事業

協賛金を活用したい事業については、予算編成時に作成する「年度事業計画書」で提案し、総会で承認を得る。年度途中で協賛金の活用が必要となった場合は「事業計画書」に「協賛金活用申請書」を添付して、企画会議に提案し、決定する。この場合でも事業を行う3ヶ月前には提案する。

協賛金の運用については「ひたち生き生き百年塾協賛金運営要項」（総会資料参照）による。

#### 3.5 預託金活用事業

預託金を活用したい事業については、予算編成時に「年度事業計画書」で提案し、総会で承認を得る。年度途中で預託金が必要となった場合は「企画会議事項」の名目で規定額を使用できる。その場合「預託金活用申請書」を添付して、企画会議に提案し決定する。この場合でも事業を行う3ヶ月前には提案する。

預託金の運用については「預託金運営規準」（総会資料参照）による。

### 3.6 プロジェクト制の導入

百年塾活動の活性化を図るためプロジェクト制を導入している。プロジェクトは、部会間を横断し、推進委員の活動の選択肢を広くすること、及び自由で建設的な事業を起こすことにある。

提案元が「事業計画書」を作成、企画会議に事業提案し、企画会議構成員の過半数の同意をもって発足する。発足の承認は原則3月の企画会議とし、構成員を次年度当初に募る。構成員は5名以上を目安とする。詳細は添付資料-6による。

### 3.7 各種手続き申請書

各種の手続きに必要な申請書は「しおり資料編」を参照。

### 3.8 市民教授登録の手続き

市民教授の登録をしに来た方へ説明書「市民教授登録手続きをされる皆様へ」（「しおり資料編」参照）を渡し、理解していただき登録してもらおう。

### 3.9 広報関係

広報活動は、企画会議で承認された「事業計画書」の広報の欄に記載されたとおりに事務局と相談しながら行う。

- ①百年塾「ひろば」への掲載は情報部会に依頼し、原稿の量、写真・表の可否を相談する。  
原稿は発行予定日の1ヶ月前までに情報部会へ提出する。
- ②市報への掲載内容は「事業名、内容、とき、参加料、定員、申込み先」となっているので、部会で原案を作成し、「事業計画書」など、事業内容のわかるものを添付し、市報発行予定日の40日前までに、事務局に依頼、事務局から市の広聴広報課に依頼してもらおう。市の市報原稿の期限は1ヶ月前なので早めに行う。但し最低限の内容しか掲載されないの、依頼したとおりですべて掲載されるとは限らない。
- ③ 募集や開催案内のため、ポスターやちらしを配布・掲示依頼する場合は、配布先リスト（「しおり資料編」参照）を作成する。
- ④ JWAYの告知放送を依頼する場合は、「JWAY告知放送申込書」を作成し、事務局に依頼する。
- ⑤ 百年塾活動に関することで一般雑誌・新聞各紙への記事掲載、その他マスコミ等の取材依頼は事務局より、関係先に依頼してもらい、推進委員単独での動きはしない。

### 3.10 共催・後援

事業の内容により日立市、日立市教育委員会、日立市コミュニティ推進会、茨城県県北生涯学習センターなどに共催・後援を依頼する場合には、事務局と相談し、各課所の内諾を得たのち、「共催・後援申請書」に「事業計画書」や実施要項など事業内容の分かるものを添付し、依頼する。

事業終了後「後援実施報告書」を作成し、後援申請先課所へ送付する。

**添付資料-1**

**平成〇〇年度事業計画**

**百年塾全体のテーマ 『 』**

「百年塾の理念」及び「基本方針」並びに平成〇〇年度推進本部重点目標等に基づき、推進本部及び各専門部会において以下の事業を実施する。

◎印は、中・長期的かつ基本的な目標

○印は、〇〇年度に向けて特に力を注ぎたい目標

★印はプロジェクト

(新) は平成〇〇年度新規事業

**推進本部**

1 事業目標

◎

○

2 事業

(1)

(2)

(3)

3 事業概要

	事業概要	予算
(1)	(事業名)	
	(目的)	
(2)		
(3)		
		合計

## 添付資料-2

### 〇〇部会

1 事業目標

◎

○

2 事業

(1)

(2)

(3)

☆印は部会プロジェクト

(新)印は新規事業

3 事業概要

	事業概要	予算
(1)	(事業名) (目的)	
	① ② ③	
(2)		
(3)		
(4)		
	合計	

添付資料-3

事業計画書

平成 年 月 日

部会

部会長

1	事業名	
2	目的	
3	日時	
4	場所	
5	募集人数	
6	参加費	
7	広報	
8	申込方法	
9	実施責任者	
10	内容	
11	予算	
12	保険	
13	後援予定	
14	備考	



## 添付資料-4

## 事業報告書

部会

部会長

1	事業名	
2	目的	
3	日時	
4	場所	
5	参加者数	
6	参加費	
7	広報	
8	申込み方法	
9	実施責任者	
10	内容	
11	決算	
12	反省・感想	

## 新規事業立ち上げについて

ひたち生き生き百年塾推進本部

新規事業の提案前の段階で、事前調査、研究をしようとしたとき、折角、良い案件にもかかわらず、その進め方で誤解を生み混乱が生じることがあってはならないため以下について注意を願います。

(1)新規事業を企画会議に提案する前の段階での趣意書は、企画会議で使用している規定様式の「事業計画書」を使わないこと。表題は「新事業提案書」とする。

内部の項目などは「事業計画書」と同じでもかまわない。

(2)上記の新規事業を他の組織・団体などと協働で行うときは事前に副本部長・部会長会議で伝えること。また、趣意書をその時使用する場合は同時に副本部長・部会長会議に提示すること。

(3)外部に出す趣意書などの予算欄は空欄にすること。「協賛金」、「預託金」など誤解を生むおそれのある言葉は使わないこと。

(4)プロジェクト・その他で外部の人と一緒に事業を展開するときは資料として「事業計画書」を配布しないこと。

以上

## 添付資料－ 6

### プロジェクトの導入について

#### 1 目的

プロジェクトは、百年塾の活性化のために部会間を横断し、推進委員の選択肢を広くすること及び自由で建設的な事業を起こすこととする。

#### 2 発足

部会、個人などが所定の「事業計画書」を作成の上企画会議に事業提案（プレゼンテーション）をし、企画会議構成員の過半数の同意をもって発足する。

発足の承認は原則として3月の企画会議とし、構成員を次年度当初に募る。

構成員は5名以上を目安とする。

#### 3 構成

プロジェクトは部会と同等に扱われる。

プロジェクトに賛同した推進委員が部会を問わず参加できる

プロジェクトメンバーの中から互選でリーダー1名を選出する。

推進委員以外の人もメンバーになることができる。（企画会議に報告）

#### 4 期間

事業計画書による。

#### 5 予算

本部主催のプロジェクトは本部予算、部会主催のプロジェクトは部会予算内に計上する。

#### 6 報告等

プロジェクトリーダーは必要に応じて企画会議にて経過を報告する。部会主催のものは部会に報告義務がある。

以上

## 百年塾の理念等の制定について

### <百年塾の理念>

百年塾の目的は、人づくり・まちづくりである。

百年塾は、生涯学習をとおして、人づくりを進め、まちづくりを推進する。

百年塾は、市民が生きがいのある生活を過ごせるよう、行政と協働して、市民の生涯学習を活性化するための支援を行い、また自らも楽しみながら学び、生涯学習をとおして、市民とともに住みよいまちづくり活動を行う。

### <「生涯学習」とは>

- ① 生涯学習は、生活の向上、職業上の能力向上や、自己の充実を目指し、各人が自発的な意思にもとづいて行うものである。
- ② 生涯学習は、可能なかぎり自己に適した手段および方法を自ら選びながら、生涯をとおして行うものである。
- ③ 生涯学習は、学校や社会で意図的、組織的な学習活動として行われるだけでなく、市民のスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動等の中でも行われるものである。

### <「生涯学習推進」とは>

- ① 市民に対する適切な学習機会の拡充と学習活動への支援をすること。
- ② 市民や自主グループの生涯学習の成果を発表する機会や場を増やすこと。
- ③ 市民が地域や職場で、生涯学習の成果を活用できる機会や場を拡充すること。

### <「百年塾事業の基本方針」>

- ① **広報による市民の生涯学習啓発と情報の収集・提供**  
百年塾の広報による市民の生涯学習啓発。生涯学習に関する情報の収集と提供、生涯学習相談の実施。
- ② **関係団体とのネットワークの強化**  
各種団体、コミュニティ推進会、市民団体などとの連携。
- ③ **開かれた学校教育の支援と健全な子どもの育成支援**  
地域の教育力を活用し、幼稚園や学校が楽しくなるような学校づくりの支援。健全な子どもの育成支援。
- ④ **まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進**  
まちづくり人材の発掘・育成・活用と市民教授等の登録・活用の促進。地域で活動する人材、生涯学習運動を推進するリーダーの発掘・育成。
- ⑤ **住みよいまちづくり活動と産業の活性化**  
農林・水産・商工など、あらゆる産業にたずさわる人に働きかけ、まちを良く知り、まちを元気にするための働きかけを行う。
- ⑥ **市民の生涯学習の機会と成果発表の場の提供**  
講座・講演会・研修会等による市民の生涯学習機会の提供。生涯学習の成果発表の場の拡充。推進委員の自己啓発・相互啓発の推進。
- ⑦ **百年塾運動全体の調整**  
百年塾の新規全体事業も積極的に実施する。

(注記) 本書は平成 20 年度本部総会資料より転載。

発行 ひたち生き生き百年塾推進本部

編集 「推進委員のしおり」リニューアルプロジェクト

事務局 日立市教育委員会生涯学習課  
〒317-0064 日立市神峰町 1-6-11  
TEL 0294-23-9150

百年塾サロン

TEL 0294-23-9165

FAX 0294-24-5200

ホームページ <http://www.net1.jway.ne.jp/iki100j/>

電子メール [iki100j@net1.jway.ne.jp](mailto:iki100j@net1.jway.ne.jp)

平成28年3月 版